

(前期) 1年次・選択

【概要・目標】

人生のそれぞれの時期における対人関係はどのように作られ、維持されていくのかを考える上で必要な心理学的知識を学び、応用する力を身につける。特に、身体の発達や社会での位置づけの変化と共に、人間の情報処理の仕方や感情がどのように変わっていくのか、変動する環境にどのように適応していくのかを考える。これは対人援助職には必須の知識である。

この科目は1年次配当科目であるが、「人間と生命倫理」の他の選択科目2科目が4年次配当であるため、2019-2020年度は本当に本科目が必要な学生を対象にした、専門的なゼミナール形式で実施する。2020年度では、看護理論の基礎となるエリクソンの理論を、理論家本人の著作を購読することでじっくりと学ぶ。看護研究ができるようになるには、本当に理論家がそのようなことを言っているのか、自分で調べて確認するスキルの習得が重要である。大学1年次には難解な内容ではあるが、難解な本に取り組む心の余裕のある時期は限られているので我慢して欲しい。夏休みの宿題はヴィゴツキー理論とピアジェ理論理解のための入門書探しである。発達心理学の一般的な知識を得たい場合は、「こころの科学」を履修されたい。

【授業内容のスケジュール】

- 1) ①「第一論文」を読む
- 2) ①「第一論文」をもう一度読む。
- 3) ①「第二論文」を読む
- 4) ①「第三論文」を読む
- 5) 6) 7) 8) ②を読む
- 9) 10) ③を読む
- 11) Discussion: エリクソンの理論は本当に役立つのか。
- 12) 夏休みの宿題に向けて④を読む
- 13) 図書館でピアジェの本を借りてきて持ち寄る。
- 14) 15) ピアジェ理論とヴィゴツキー理論を理解するために最適な本を選ぶ。

【評価】

課題1:「エリクソン読書日記」第12回の授業で提出。50点満点。書式自由で、十分な事前準備と事後学習したことが確認可能であれば、形態も分量も問わない。授業参加態度などと照合して虚偽の記述が見られる場合は0点とする。スクラップブックのように出典を明らかにしたメモの集大成と見なされれば問題ないが、そうでなければ剽窃と見なされる。再提出不可。

課題2:「ピアジェとヴィゴツキーの入門書書評課題」50点満点。10月2日締め切り。9月の2回は所謂「ビブリオバトル」形式のディスカッションを実施する。他の学生が紹介した本と比較して最良の入門書を選ぶ。書式は自由である。再提出不可。

※今年度のこの科目は期末試験を実施しない。従って追試験・再試験も実施しない。

【教科書】

- ①エリクソン「アイデンティティとライフサイクル」誠信書房 2011
- ②エリクソン「アイデンティティ：青年と危機」新曜社 2014
- ③エリクソン・エリクソン「ライフサイクル、その完結【増補版】」みすず書房 2001
- ④柴田義松「ヴィゴツキー入門」子どもの未来社 2006

第4回授業開始時点で全4点を確保していない学生の受講は認められない。尚、2019年12月時点の生協割引前本体価格は以下の通り：①3,500円②3,300円③2,800円④800円 古書店で調達する場合は、新本と同一の「版」でなくてはならない(一方、「刷」は古くても良い)。

【推薦参考図書】

本学図書館以外の図書館にも必ず行かなければならない。

【その他】授業に関する質問などは、「オフィスアワー」時間帯(研究室のドアに掲示)でしか対応できない。「オフィスアワー」が利用できない場合は、必ず事前にメールで面会予約を取ること。